

(様式 1)

令和 2 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県立山博物館 文化振興課

2 施設所在地
中新川郡立山町芦嶮寺93-1

3 施設設置年度
平成 3 年度

4 設置目的
立山の雄大な自然及びそれにはぐくまれた立山信仰の精神世界を紹介するとともに、展示館、遙望館、まんだら遊苑等のほか、文化財、遺構等の施設及び歴史的風致を総合的に活用し、県民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造 展示館…鉄筋コンクリート造3階建
遙望館…木造2階建
資料館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
山岳集古未来館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
まんだら遊苑…地界鉄筋コンクリート造地上1階地下1階
天界鉄筋コンクリート造地上1階地下2階

②敷地面積 130,578.5㎡

③建物面積 5,945.33㎡

④施設内容 展示館…延床面積1,784.84㎡(3階建)うち、展示面積1,082.28㎡
遙望館…延床面積663.95㎡(2階建)うち、展示面積204.14㎡
資料館…延床面積630㎡(2階建)
山岳集古未来館…延床面積313.90㎡(2階建)
まんだら遊苑…地界・陽の道・天界・闇の道
敷地面積20,000㎡延床面積1,401.92㎡
歴史的建造物…教算坊・鳴家・有馬家・善道坊・合掌休憩舎
延床面積982.36㎡
かもしか園…敷地面積11,000㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1)利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H28	H29	H30	R1	R2
77,245	75,630	63,661	77,390	47,503

(2)利用(使用)料金収入(千円)

H28	H29	H30	R1	R2
9,187	8,706	6,982	9,263	7,416

【参考】利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H28	H29	H30	R1	R2
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

4/18(土)～5/10(日)までの新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館や、首都圏など感染拡大地域からの往来自粛要請、入館者の多くを占める小学校等学校団体の利用がほぼ皆無だったことなどにより、利用者数・利用料金収入とも大幅に減少した。感染症対策を徹底し、来館者の受け入れ態勢を整えたものの、最終的には令和元年度と比較し入館者数は約39%減、観覧料・使用料収入は約23%減となった。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・展示館窓口で県の図録、新規のグッズ等の販売に協力した。
- ・平成30年より展示館、遙望館の入口段差が危険であったため、目立つ白線を引き注意を促した。また、接触事故が多い駐車場内の外灯柱に目立つシールを貼り、注意喚起した。
- ・ホームページを活用し、開館状況及びイベント等の情報を速やかに提供した。
- ・受付窓口で立山黒部アルペンルートや県内市町村の観光パンフレット配布などの案内サービスを実施した。
- ・キャッシュレス決済サービスとして、令和2年度から新たにPayPayやLinePayなどのQRコード決済に対応した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・財団のホームページなどにより県内外に向けて効果的な広報・情報発信を行った。
- ・令和2年度より新型コロナウイルス感染症対策（職員のマスク着用・受付にアクリル板設置・消毒用アルコールの設置・不特定多数の接触部分の日常消毒作業等）を実施し、安全・安心に観覧できる施設であることをPRし、集客に努めた。
- ・令和2年度よりGO TOトラベル事業に参加して、地域共通クーポン（紙クーポン・電子クーポン）での観覧料支払に対応し、集客を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：エントランスホールにアンケートボックスを設置
回答者数	274人
結果	75%以上満足
結果を踏まえた改善事項	展示館1階エントランスホールの受付などの配置を変え、無料で入館できるエリアを作り、ミュージアムショップやトイレ利用の利便性を向上させた。

②その他利用者の声を反映させる取組み

利用者から寄せられたアンケート結果・意見・要望を利用者サービスに反映させるため、職員全員で情報を共有した。

③主な苦情と対応

- ・ショップの商品を充実してほしい。⇒ 運営主体の立山博物館友の会と協議し、販売する缶バッチの種類やキャラクター（くたべ）グッズを増やしていただいた。
- ・休暇場所を増やして欲しい。⇒ 休憩場所を増設し、ベンチを設置した。
- ・展示室が暗い。⇒ 学芸部門と連携しながら作品保護の観点から明るさを調整している展示物の照明の改善に努めた。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定めて職員に周知を図り、適正に個人情報を取り扱っている。

(6) 関係団体との連携

地元宿泊施設、立山町商工観光課、立山黒部貫光などと協力し、施設のPRを行った。

(7) 施設・設備の維持管理

専門保守業者による保守点検とは別に職員による自主点検を毎月行うなど、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・新型コロナウイルス感染症対策（職員のマスク着用・受付にアクリル板設置・消毒用アルコールの設置・不特定多数の接触部分の日常消毒作業等・接触がある展示の使用休止）を実施した。また、スタッフの体調管理（体温・倦怠感・味覚異常等）、同居家族やその職場・学校等で陽性者が出た場合の出勤の是非や連絡体制を取り、感染拡大を未然に防ぐ対策を取った。
- ・熊やイノシシ被害防止対策（監視体制の強化、専用檻の設置、害獣よけるラジオ増設・動物除け線香を焚く、野外施設の草刈等）を実施した。
- ・スズメ蜂やヘビ等の被害防止対策を実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	3
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

新型コロナウイルス感染症終息の見通しが立たない状況だが、来館者が安心して訪れることができるよう、感染症対策（館内の消毒や換気の実施、検温や3密回避の工夫等）を徹底し、日々変化する国内外の状況を踏まえた迅速かつ適切な対応が求められる。人の流れが減少している中においても、安全面や衛生面を工夫し、各施設の整備、保全、魅力的な環境の維持及び施設広報等に努め、立山の雄大な自然、それに育まれた立山信仰の精神世界の魅力を発信してもらいたい。大人数での団体鑑賞については、近隣施設と連携して分散して来館してもらえよう調整し、できるだけ多くの来館者を取り込めるよう工夫する必要がある。

施設管理面では、開館から30年が経過しており設備の老朽化がかなり目立つことから、県への報告を密にし、トラブルの未然防止に努める必要がある。

令和2年度に開催した第三者評価委員会では、子ども向けのサービスにも取り組むよう意見があったところであり、子供向けの企画を検討する必要がある。